

实

用

语文知识手册

汪丽炎 编著

SHIYONG YUWEN ZHISHI SHOUCI



世界图书出版公司

实用语文知识手册

汪丽炎 编著

世界图书出版公司

上海·西安·北京·广州

图书在版编目(CIP)数据

实用语文知识手册/汪丽炎编著. —上海:上海世界图书出版公司,2001.1

ISBN 7-5062-4392-X

I. 实... II. 汪... III. 汉语-基本知识-学习参考资料
IV. H1

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (1999) 第 20111 号

实用语文知识手册

汪丽炎 编著

上海世界图书出版公司出版发行

上海市武定路 555 号 邮政编码 200040

E-mail: fxb@ mail. wpcsh. com

上海申光印刷厂印刷

各地新华书店经销

开本: 890 × 1168 1/32 印张: 19.125 字数: 553 000

2002 年 1 月第 1 版第 2 次印刷

印数: 6 001—11 100

ISBN 7-5062-4392-X/H·198

定价: 29.80 元

说 明

本书将语文课本内外的全部知识(基础知识)进行分类归纳,用专题形式出现,以期适应语文现代化教学和语文素质教育的需要,并有别于当前名目繁多的习题集,力争让它起到既是一本工具书又是一本复习用书的独特的多功能作用。

本书适合中等文化程度的读者,既可作为参加各类中考、高考、成人高考、高等学历自学考读者自学和复习用书,又可作为中等学校教师教学的参考和指导复习用书,还可以直接作为参考教案。

本书的编写体例,按一般同类书结构。不同的是:一、各章所介绍阐释的知识相对独立;二、在介绍阐释有关现代汉语和古代汉语有关知识时,一般以中考、高考大纲(也包括高等学历自学考)为准,兼作一些深层次的介绍;三、有些章节所介绍阐释的知识内容涉及大学教材中的一些知识范畴,意为开拓读者的视野与丰富读者的知识领域而撰写;四、关于文学常识的介绍阐释,有几种情况:

(1)着重介绍阐释全国、上海义务教材初中语文和新编全国、上海高中语文教材中规定的基本篇目的作家与作品分析;

(2)作家与作品分析的介绍顺序,一般以文学发展史为顺序、讲读作品与自读作品为先后顺序、著名作家与一般作家为先后顺序或补充性介绍为先后顺序;

(3)个别非重点教材中涉及的作家与作品作简略介绍,以免本书篇幅过长;

(4)文学史常识介绍主要介绍一些重要的文学活动、文学现象和文学成就,作品分析就语文教材涉及的相关作品作阅读式分析。

编 者

序

国家教育部中学教材审定委员会学科审查委员
人民教育出版社特约编审、中学语文特级教师

韩步武

我国的传统语文教学，是单一的“文选教学”，只讲“文章之法”，不讲语法。在语文课内系统讲授语法修辞等基础知识，始于50年代中期。现在60岁以上的语文老师都还记得，《人民日报》在1951年发表过一篇很有影响的社论：《正确地使用祖国的语言，为语言的纯洁和健康而斗争》，同时又特约吕叔湘、朱德熙两位语言学家撰写《语法修辞讲话》在该报连载，一时在知识界引起了学习语法修辞的热潮。社论同时也指出了当时学校教育中“没有正式的内容完备的语法课程”的缺陷。正是在《人民日报》社论的推动下，教育部经过几年的酝酿，终于在1956年推出了一个令人耳目一新的改革方案：实行汉语、文学分科教学。那时为汉语教学而编写的《初级中学汉语课本》，就是一套向初中学生系统介绍语音、文字、词汇、语法、修辞知识的专用教材，其中语法是重点，占了总共六册教材中的三册。这次改革虽然仅历时两年就由于种种原因而夭折了，但汉语知识作为语文教学内容的重要组成部分，其“合法”地位已获语文教育界普遍认同；原汉语课本所采用的知识体系，在人民教育出版社嗣后编写的语文课本中，以“知识短文”的形式承袭了下来，现在通用的人教版语文课本，虽几经改编，仍然大体保留着这样的格局。

语文教学中究竟有没有必要让学生系统地学习汉语知识尤其是语法知识，对这个问题历来就有些不同的看法，但怀疑、反对的

意见一般不占主流。90年代初,有人发表文章提出“淡化语法”的主张,一时引起了不少语文教师的共鸣。主张“淡化”的同志所陈述的诸多理由,归纳起来主要有两条:1. 学生在语文课上学的不是外国语,是母语,关键在于培养语感,而语感的培养只能通过语言实践,在多读多写中自悟自得;2. 从学生学习语法的现状看,只是记住了一堆概念术语,对提高语言表达能力不起作用,因此,与其要学生耗时费力去学习这些用处不大的知识,还不如学生多读读作品。我知道,文学界的有些朋友也支持“淡化语法”的观点,我就听到有位作家说过这样的话:如果要我在写作时心里时时想着语法规则,就一个字也写不出来(大意)。

对主张“淡化”的同志所陈述的理由,我深有同感,目前语法教学确实存在着脱离语言运用实际的问题。但我并不赞成“淡化”的主张。“淡化”是一个模糊概念,它的内涵无法界定,在实际操作上究竟“淡”到什么程度为宜,其分寸更难以掌握,如果“淡化”过头,成了“淡出”(我读过两篇主张“淡化”的文章,议论中就很有点“淡出”的倾向),显然又走到了另一极端,对学生学习母语同样也是不利的。关于这件事,叶老曾说过一些极中肯的话,重温一下很有好处。他说“求语言的完美,学习论理学、文法、修辞学,是一个办法。……不学习论理学、文法、修辞学,也未尝不可;但是要随时留意自己的和他人的语言,不仅听了说了就完事,还要比较,要归纳,这样说不错,那样说更好,这样说为了什么作用,那样说含有什么情趣。……这样随时留意,实在就是在学习论理学、文法、修辞学,不过不从教师,不用书本,而以自己为教师,以自己的比较归纳为书本罢了。所得往往会与教师教的和书本上写的暗合。教师的书本上的经验原来也是这样求的。”(《叶圣陶语文教育论集》605~606页,教育科学出版社1980年出版)从叶老的话,可以归结出两点基本认识:1. 学习论理学(逻辑学)、文法(语法)、修辞学可以使语言完美;2. 学习这些知识的途径有二,不是向老师、书本学,便是在语言实践中经过不断比较归纳而自己领悟。总之,要使语言完美,就得学一点逻辑、语法、修辞知识,无论选择何种途径,反正都得学

习。因此我想,那位声称自己写作时“不想”语法规则的作家,大概并没有意识到当他写作中调动自己的语言经验选择词语和句子时,他长期积累的语言经验中其实就隐含着他对某些语法规则的认识;除非他是故意想说些过头的话来惊世骇俗。人们在写作时,语感当然重要,但要绝对不考虑遣词造句的规则是不可能的,这是稍有一点写作经验的人都无法否认的事实。要而言之,语文教学要提高学生的语言表达能力,教一点语法修辞之类的语言知识很有必要;不教当然也可以,那就要用叶老说的办法,让学生自己到语言实践中去比较,去归纳,去摸索,这样不但费时,而且未必真能摸到什么规律,正如鲁迅先生所说“到底弄不通的也多得狠”,因为自己摸索非得靠一点韧性和悟性不可,而韧性和悟性不是人人都有的,尤其是悟性。

确实,目前语文课内的语言知识教学很不理想,教学内容烦琐,教学方法太死,完全不顾学生学习母语的实际,有时简直像教外国学生学习中国话。但要解决这个问题,我并不认为“淡化”是一个正确的对策,它至少不是一个确切的提法。正确的对策在哪里?语文课内应该教哪些语言知识?怎样教才有利于培养学生的语言能力?……这是摆在全体语文教育工作者面前的一些重要课题。

我悬揣,丽炎先生正是考虑到语言教学的现状,本着探索这些课题的初衷,来编撰《实用语文知识手册》的。据我看,这本书至少有以下两个特点。

1. 知识体系相对完整。本书几乎包罗了语文教学的全部内容,可谓赅备。

2. 注重实用。这里说的“实用”有两层含义:一是指语言的实际运用,二是指对学生系统复习汉语知识和参加考试有实用性。

先说第一层。本书在介绍知识时,注意从语文教材和学生的实际生活中取例,例证比较丰富,阐释时重在比较归纳,便于读者了解不同语境中语言运用的一般规律。

再说第二层。本书并不回避应试的内容,这是不是在跟“素质教育”对着干呢?我认为不是。“应试”和“应试教育”是两个不同的

概念。凡学生都得应试,教师自然要指导学生应试,这本是天经地义的事。但是近年来由于学生的课业负担日益沉重,“素质教育”呼声日高,人们都讳言考试,似乎学生书包之所以愈来愈重,素质教育之所以迟迟不能推行,其罪全在考试。但问题是,讳言考试不等于考试从此取消,初中以上各级各类学校仍然需要通过考试挑选合格的新生,即使在全盘实施素质教育以后,仍不可避免地要用考试的方式来检测学生的学习质量。其实,考试作为教学过程中的一种检测手段,何罪之有?真正加重学生课业负担的罪魁祸首,不是考试,而是普遍存在于社会上的“片面追求升学率”的错误思想和目前一般学校所采用的“满堂灌+题海战”的教学方法。关于这个问题不是这篇小序所能说清楚的,我只想向读者指出一个事实:教学决不是为了应试,但真正有质量的教学必然经得起考试的检验。再说,应试能力(包括考试前充分的知识准备和正确的心理调适)本身,也是构成学生素质的要素之一。本书的作者对考试采取了实事求是的态度,从全书的知识框架、丰富的例证、根据国家考试命题的特点安排的知识重点和采取的阐释体例,对学生准备参加各级考试,乃至成人高考,高等学历自学考,确实多有助益。

最后,再想就作者治学、著述的精神说点感想。丽炎先生是一位长期执教于基层学校的高三语文教师,他的工作负担像所有的语文教师一样沉重,然而他能在舌耕之余,笔耕不辍,已出版多部教学专著,别的不看,单看那成摞成捆的写满了字的文稿纸,就不能不令人对作者的勤奋和毅力肃然起敬。因此,我觉得本书对于读者的价值,不仅在于它所介绍的知识,更在于作者本人给予人们的示范和激励。我想,本书的读者,尤其青少年读者,在学习本书内容的同时,是不是也从作者的勤奋和毅力获得一点启示?

目 录

序	钱梦龙(1)
---------	--------

上编 语文知识篇

第一章 汉语拼音知识	(1)
一、音节·拼音·声调	(2)
(一) 音节	(2)
(二) 拼音	(3)
(三) 声调	(3)
二、声母·韵母·音变	(5)
(一) 声母	(5)
(二) 韵母	(7)
(三) 音变	(10)
三、“y、w”用法	(13)
四、大写字母·隔音符号	(14)
五、汉语拼音方案	(16)
(一) 字母表	(16)
(二) 声母表	(16)
(三) 韵母表	(17)
(四) 声调符号	(18)
(五) 隔音符号	(18)
六、普通话语音音节表	(18)
第二章 汉字知识	(23)
一、汉字的作用和性质	(23)
二、汉字的构造和形体	(24)
三、汉字的改革及其简化	(30)

四、汉字的认识和书写	(33)
五、汉字常识表	(36)
(一) 汉字笔画名称表	(36)
(二) 汉字笔顺规则表	(37)
(三) 汉字笔顺例表	(37)
(四) 汉字偏旁表	(39)
(五) 汉字间架结构表	(42)
六、杜绝错别字	(44)
(一) 字形相近、字音不同的字	(45)
(二) 字形相近、字音相同或相近的字	(46)
(三) 字形不同、字音也不同的字	(48)
(四) 字形不同、字音相同或相近的字	(49)
七、学查字、词典	(50)
(一) 字典、词典	(51)
(二) 学习使用字典和词典	(52)
第三章 标点符号知识	(54)
一、标点符号作用和种类	(54)
二、标点符号用法表	(54)
(一) 标号用法简表	(54)
(二) 点号用法简表	(56)
三、准确运用标点符号	(56)
(一) 句号、问号、叹号	(56)
(二) 顿号、逗号、分号	(57)
(三) 冒号	(59)
(四) 引号	(59)
(五) 省略号、括号、破折号	(60)
(六) 连接号	(60)
(七) 书名号、间隔号、着重号	(61)
四、标点符号书写位置	(61)
第四章 词汇知识	(63)

一、词·词义	(63)
二、同义词·反义词·多义词·同音词	(66)
(一) 同义词	(66)
(二) 反义词	(68)
(三) 多义词	(69)
(四) 同音词	(71)
三、成语·谚语·歇后语	(72)
(一) 成语	(72)
(二) 谚语	(72)
(三) 歇后语	(73)
四、词语的感情色彩	(74)
五、词语的语体色彩	(75)
第五章 逻辑常识	(76)
一、概念常识	(76)
(一) 怎样明确概念	(77)
(二) 熟悉概念的种类与概念之间的关系	(78)
(三) 明确概念的一般逻辑方法	(81)
二、判断常识	(83)
(一) 简单判断	(85)
(二) 复合判断	(87)
三、推理常识	(91)
(一) 演绎推理	(91)
(二) 归纳推理	(98)
(三) 类比推理	(99)
四、逻辑思维的基本规律常识	(99)
(一) 同一律	(100)
(二) 矛盾律	(100)
(三) 排中律	(101)
第六章 文体知识	(103)
一、小说	(103)

二、散文	(107)
三、诗歌	(109)
四、戏剧	(117)
五、报告文学·纪实文学	(121)
六、记叙文·议论文·说明文	(123)
七、杂文	(124)
八、中国古代文体常识	(125)
第七章 中国古代文化常识	(128)
一、古代神话与朝代常识	(128)
二、官职常识	(131)
三、宗法常识	(133)
四、文史典籍常识	(134)
五、天文历法常识	(135)
六、地理位置常识	(136)
七、封建科举常识	(138)
八、音乐声律常识	(139)
九、礼仪风俗常识	(140)
十、其他一般常识	(141)
第八章 古文阅读常识	(145)
一、常见古今词语异义	(145)
二、常见文言句式	(148)
(一) 判断句式	(148)
(二) 疑问句式	(148)
(三) 否定句式	(149)
(四) 被动句式	(149)
(五) 倒装句式	(149)
(六) 省略句式	(149)
(七) 定语后置句式	(150)
(八) 状语后置句式	(150)
(九) 宾语前置句式	(150)

三、常见文言虚词(附:实词活用)	(150)
(一) 代词	(150)
(二) 介词	(151)
(三) 助词	(151)
(四) 叹词	(151)
(五) 副词	(152)
(六) 连词	(153)
四、常见文言通假字、古今字	(160)
附:上海市教材文言通假字表	(164)
五、古文翻译一般方法	(168)
第九章 现代文阅读常识与方法	(170)
一、记叙文阅读	(170)
二、议论文阅读	(171)
三、说明文阅读	(173)
四、小说阅读	(175)
五、散文阅读	(176)
六、诗歌阅读	(178)
七、戏剧阅读	(179)
第十章 先秦两汉文学常识	(181)
一、先秦两汉文学史常识	(181)
二、作家与作品分析	(182)
(一)《诗经》	(182)
(二)屈原与《楚辞》	(183)
(三)孔子及弟子与作品《论语》	(184)
(四)庄子及后学与作品	(184)
(五)孟子与作品	(185)
(六)荀况与作品	(186)
(七)韩非与作品	(187)
(八)列御寇与作品	(188)
(九)孙武与作品	(188)

(十) 吕不韦与作品	(189)
(十一) 左丘明与作品	(190)
(十二) 刘向与作品	(190)
(十三) 司马迁与《史记》	(191)
(十四) 贾谊与作品	(193)
(十五) 刘安与作品	(194)
(十六) 汉乐府诗	(195)
第十一章 魏晋南北朝文学常识	(197)
一、魏晋南北朝文学史常识	(197)
二、作家与作品分析	(198)
(一) 曹操与作品	(198)
(二) 陶潜与作品	(199)
(三) 北朝民歌	(200)
(四) 诸葛亮与作品	(201)
(五) 吴均与作品	(202)
(六) 范晔与作品	(202)
(七) 刘义庆与作品	(203)
(八) 邯郸淳与作品	(203)
第十二章 隋唐文学常识	(205)
一、隋唐文学史常识	(205)
二、作家与作品分析	(206)
(一) 王勃与作品	(206)
(二) 骆宾王与作品	(207)
(三) 李白与作品	(207)
(四) 杜甫与作品	(209)
(五) 白居易与作品	(211)
(六) 高适与作品	(212)
(七) 岑参与作品	(213)
(八) 王昌龄与作品	(213)
(九) 王之涣与作品	(214)

(十) 孟浩然与作品	(214)
(十一) 王维与作品	(215)
(十二) 张志和与作品	(216)
(十三) 贺知章与作品	(216)
(十四) 刘禹锡与作品	(216)
(十五) 杜牧与作品	(217)
(十六) 韩愈与作品	(218)
(十七) 柳宗元与作品	(219)
(十八) 李煜与作品	(219)
(十九) 李贺与作品	(220)
(二十) 李商隐与作品	(221)
第十三章 宋元文学常识	(223)
一、宋元文学史常识	(223)
二、作家与作品分析	(224)
(一) 柳永与作品	(224)
(二) 苏轼与作品	(225)
(三) 李清照与作品	(226)
(四) 姜夔与作品	(227)
(五) 辛弃疾与作品	(227)
(六) 陆游与作品	(229)
(七) 杨万里与作品	(230)
(八) 文天祥与作品	(230)
(九) 范仲淹与作品	(231)
(十) 王安石与作品	(232)
(十一) 欧阳修与作品	(233)
(十二) 沈括与作品	(234)
(十三) 周敦颐与作品	(235)
(十四) 司马光与作品	(235)
(十五) 苏洵与作品	(236)
(十六) 岳飞与作品	(237)

(十七) 朱熹与作品	(237)
(十八) 马致远与作品	(238)
(十九) 张养浩与作品	(238)
(二十) 王磐与作品	(239)
(二十一) 睢景臣与作品	(239)
(二十二) 关汉卿与作品	(240)
第十四章 明清文学常识	(241)
一、明清文学史常识	(241)
二、作家与作品分析	(243)
(一) 宋濂与作品	(243)
(二) 于谦与作品	(244)
(三) 罗贯中与作品	(244)
(四) 施耐庵与作品	(245)
(五) 吴承恩与作品	(246)
(六) 冯梦龙与作品	(247)
(七) 归有光与作品	(247)
(八) 刘基与作品	(248)
(九) 张溥与作品	(249)
(十) 崔铤与作品	(250)
(十一) 魏禧与作品	(250)
(十二) 姚鼐与作品	(251)
(十三) 方苞与作品	(251)
(十四) 蒲松龄与作品	(252)
(十五) 曹雪芹与作品	(253)
(十六) 吴敬梓与作品	(255)
(十七) 袁枚与作品	(256)
(十八) 彭端淑与作品	(257)
(十九) 洪亮吉与作品	(258)
(二十) 刘开与作品	(259)
(二十一) 李渔与作品	(259)

(二十二) 纪昀与作品	(260)
(二十三) 林嗣环与作品	(261)
(二十四) 全祖望与作品	(261)
第十五章 近代文学常识	(263)
一、近代文学史常识	(263)
二、作家与作品分析	(264)
(一) 李宝嘉与作品	(264)
(二) 龚自珍与作品	(265)
(三) 林觉民与作品	(265)
(四) 梁启超与作品	(266)
(五) 孙中山与作品	(267)
(六) 刘鹗与作品	(268)
第十六章 现代文学常识	(269)
一、现代文学史常识	(269)
二、作家与作品分析	(270)
(一) 鲁迅与作品	(270)
(二) 郭沫若与作品	(275)
(三) 茅盾与作品	(276)
(四) 叶圣陶与作品	(277)
(五) 巴金与作品	(279)
(六) 朱自清与作品	(279)
(七) 冰心与作品	(280)
(八) 鲁彦与作品	(281)
(九) 老舍与作品	(281)
(十) 曹禺与作品	(283)
(十一) 郁达夫与作品	(283)
(十二) 赵树理与作品	(284)
(十三) 孙犁与作品	(284)
(十四) 丁玲与作品	(285)
(十五) 贺敬之与作品	(285)